

with Dignity

金城学院の明日を見つめる【ウイズ・ディグニティ】

【特集1】

2019年、金城学院は
創立130周年を迎えます。

金城学院報 | vol.32
2018.12

【特集2】

貴重な体験と学びの機会を得て、
世界へ羽ばたく金城学院生

【クローズアップ】

金城学院大学 | 金城学院中学校
吉川 昌江 教授 | 近藤 浩子 教諭

金城学院大学の風景
クリスマスツリー点灯

アドベントに入りました。去る12月3日にはクリスマスツリー点灯式を開催。エラ・ヒューストン記念礼拝堂にてオルガンミニコンサートも行われました。12月25日のクリスマスまでは私たちの心に救い主を迎える準備をするアドベント期間です。イエス・キリストの御降誕を喜びつつ待ち望む、大切なこのひとときを心から慈しみましょう。



2019年、金城学院は 創立130周年を迎えます。

多彩な事業を開催し、130周年を祝福 先人の教えを胸に 新たな未来へ

アメリカ人宣教師アニー・ランドルフ先生が金城学院の前身となる「女学専門冀望館」を設立し、聖書の教えに基づいて名古屋の女性に知識と技能、感性、徳性などを教える全人教育を行われてから130年。女性の権利と責任、社会や世界平和への貢献を説かれた先生の思いが連綿と今に受け継がれ、金城学院は2019年に学院創立130周年を迎えます。さまざまな事業を通じて、皆様と一緒に130周年を祝いたいと願います。



学校法人金城学院
戸莉 創 理事長・学院長

130周年に向けての 想いとご挨拶

金城学院は1889年、アメリカ人宣教師アニー・ランドルフ先生が私費を投じて設立した「女学専門冀望館(きぼうかん)」からその歴史が始まりました。そのころ、日本はまだ女性教育に対する社会的認識が低い時代でしたが、アニー・ランドルフ先生は福音主義キリスト教に基づく女子教育を展開。先生の意思を継いだエラ・ヒューストン先生も生涯を通して神と人に仕える全人教育を行われ、生徒たちに“you must have

dignity”と教えられました。先生方が撒かれた小さな種は今も脈々と受け継がれ、学院では今日、幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を擁し、学生や生徒、園児約7,400人がいきいきと学んでいます。また、卒業生は延べ14万3千人を超えています。

金城学院は先生方の教えを礎に、今後もこの「福音主義キリスト教に基づいた品格のある女性」「自ら課題を発見し、解決できる女性」「国際理解を持った女性」を3本柱として、社会に貢献できる女性を育成して参ります。この度の130周年を機に“Dignity&Humanity”を合言葉とし、具



金城学院高等学校 栄光館の講堂

130

Dignity & Humanity

KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

キリスト教の精神に立つ「人間の尊厳」と「博愛」を意味する言葉を金城学院創立130周年のメッセージとして制定。「愛に満ちた品格ある女性の育成」という金城学院の教育の原点を伝えます。ロゴデザインは、中央に白百合をあしらった校章を用い、クラシカルな書体としなやかさのある書体を組み合わせることで、確かな足どりで躍動していく、明日の金城学院の姿を示しています。



金城学院創立130周年記念特設サイト
<http://www.kinjo-gakuin.jp/130/>
学院創立130周年を記念して計画した
さまざまな事業を今後掲載していく予定です。
是非ご覧ください。

体的なアクションプランの基に品格を備えた女性を育てていきたいと考えています。

130周年を記念して さまざまな事業を計画

金城学院では130周年を迎えるにあたり、さまざまな事業を行っていく予定です。2020年～2024年の5年間の中長期計画を策定し、学院の教職員の結束力をより高めながら本計画を推進していきます。

さまざまなイベントも実施される予定です。2019年10月5日には周年を記念した大学

ホームカミングデーを開催し、同窓生を大学に招待して親睦を図ります。各学科の同窓生にもお声がけを行い、例年より規模を拡大して行う予定です。10月12日には周年記念式典の開催を予定、第3期中期計画の説明などを行います。10月26日には中・高のホームカミングデーを開催する予定となっています。また、時期は未定ですがチャリティーコンサートや高校と大学でのオルガンコンサートなども計画をしています。また創立130周年記念誌の発行、2021年開設予定の学院資料室、分室(高校)の準備、大学新校舎の建設などさまざまな事業も行っていきます。



新校舎E1棟 完成予想イメージ(2018年11月時点)

「高校生ニッポン文化大使」に任命 11月、パリで日本文化の魅力を発信

高校1年の蟹江菜々美さんが「高校生ニッポン文化大使2018」に任命され、11月にパリで縄文文化の魅力について発表を行いました。舞台はフランスで行われている「ジャポニスム2018」に合わせて開催された「縄文—日本における美の誕生」展。パリの高校生を前に日本文化の魅力を発信した感想を聞きました。

日本文化会館でプレゼン発表 フランスの高校生とも交流

「高校生ニッポン文化大使」プロジェクトは、文化庁と新聞社の主催で行われるもので、今年で二回目。蟹江さんは小さいころから日本史が好きで、フランスに行ってみたいとの思いから応募。作文などの審査を経て12人の「高校生ニッポン文化大使」のうちの1人に任命されました。

12人は8月に3泊4日の研修に参加。東京国立博物館で開催されていた「縄文展」で鑑賞ツアーを行い、レクチャーを受けたあと、フィールドワークやプレゼンテーション研修を受講。その後プレゼン審査が行われました。その結果、蟹江さんは上位3人に選ばれ、パリ派遣が決まりました。

フランスでは来年2月まで日本文化の魅力を紹介する文化イベント「ジャポニスム2018」が開催され、「縄文展」はその中心的展覧会の一つ。蟹江さんはパリの「縄文展」で高校生に向け縄文文化の魅力を発信しました。

蟹江さんが応募作文のテーマでもあった「伝えたい縄文の魅力」として挙げているのは「縄文のアニミズム」。「アニミズムとは動物、植物や岩、川や木などすべてのも



のの中に魂があるという自然崇拝の心のこと。わかりやすく伝えるために、例として挙げたのがジブリ作品です。フランスでも人気の日本のアニメを通してアニミズムを身近に感じてもらい、日本の文化の一つとして知ってもらいたいと思っています」と渡航前に抱負を語っていました。

パリの日本文化会館でのプレゼンテーション前日には高校訪問もあり、約200人の現地高校生とお互いの文化を紹介し合うなどをして交流。翌日の本番では約70人の高校生を前にプレゼンテーションを行いました。

蟹江さんは「計画通りにできたことや、聞いてくれた皆さんが縄文文化に興味を持ってくれたことがうれしかったです。前日の高

校訪問で知り合った人も会場に来てくれて、『縄文の精神が今も受け継がれているのは不思議に思った』と感想を聞かせてくれました」と発表を振り返ります。

プレゼン後はノートルダム大聖堂やルーブル、オルセー、ギメ東洋美術館も訪問。フランスの文化にもふれることができました。

蟹江さんは今回の体験を通し「パリの高校生の日本文化への注目度の高さに驚き、よく知っていることに感動しました。パリの高校生は積極的でフレンドリーで、質問もたくさんしてくれました。これからも世界の人々と交流するために英語をもっと勉強し、日本の歴史研究を続けて知識を深めていきたいです」と話してくれました。

得て、世界へ羽ばたく金城学院生

スポーツ庁の鈴木大地長官と面談し 東京オリンピックについて意見交換

高校生徒会長の西塚早咲さんが8月6日、スポーツ庁(東京都千代田区霞が関)を訪ね、鈴木大地長官にインタビューを行いました。高校生向けフリーマガジンの企画で実現したもので、2020年の東京オリンピックについて大学生や他校の生徒と一緒に意見交換を行いました。

オリンピックを自分ごととして考え 個性を磨くことの大切さ痛感

鈴木長官は1998年ソウルオリンピック100m背泳ぎの金メダリスト。バサロ泳法という背泳ぎの潜水泳法で知られ、現役引退後は指導者として活躍。現在は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の理事でもあり、2015年10月1日に設置された同庁の初代長官を務められています。

西塚さんは鈴木長官との面会を前にオリンピックについての質問を準備していました。用意したのはオリンピックと長官の関係性についての質問です。当日は大学生4人、西塚さんと名古屋大学付属高校の生徒、中学生1人の計7人で訪問しました。

西塚さんは「今回の対面まで鈴木長官のことはお名前を聞いたことがあるくらいで詳しいことは知りませんでした」と話します。「両親から話を聞いたり、選手時代のVTRを見て準備。知れば知るほど鈴木長官の凄さを実感し、緊張が高まりました」。

いよいよ鈴木長官にインタビューをする順番が回ってきて、西塚さんは「元オリンピック選手だったからこそスポーツ長官になられて役立ったことはありますか」と質問。鈴木長官からは「役に立ったことはあまりありません。でも、自分が金メダルを取っていることで、周りの人から顔を知られ、スポーツ選手だと認識されていることはスポーツ長官として有利なことだと思います」と話されました。

実際に面会をして感じた長官の印象は「背が高くて、とても気さくな方でした。

金メダルも触らせてもらって感激です」と話す西塚さん。今回の面会で西塚さんはオリンピックへの意識が変わったといいます。「2020年に向けて最前線で準備を進めていらっしゃる方とお会いしたことで、オリンピックのニュースも身近に捉えられるようになりました。また大学生の皆さんの質問内容がとても深く刺激を受けました。2020年には自分には関係ないではなく、自分の未来のこととして考えていきたいです。オリンピック開催時にはたくさんの方々が日本にいらっやいます。観光客も増えると思うので、自分も英語を一生懸命勉強して、おもてなしに参加してみたいです」。

また西塚さんは「今回の経験を通し、どの進路に進んだとしても、これからは自分の個性をどうやって出していくか、磨いていくかが大切だと思いました」と話し、貴重な体験から得た学びを今後生かしていくことを心に誓いました。



金城学院高等学校 3年
生徒会長 西塚 早咲 さん

吉川 昌江 准教授

名古屋市生まれ。金城学院中学、高校に学び名古屋市立大学薬学部入学。病院勤務後、同大医学部で研究員として研究をしながら、一般企業の健保診療所で薬剤師として勤務。2005年、糖尿病専門の調剤薬局を開局。2010年から金城学院大学で教鞭を執る。医学博士。日本糖尿病療養指導士。



薬学部 薬草園温室にて

臨床の場で「強く、優しく。」を体現し 社会に貢献できる薬剤師を育てたい

「患者さんから、あなたに会えてよかった、と言ってもらえる薬剤師を育てたい」と話す吉川昌江先生。

医学博士、日本糖尿病療養指導士の資格を持つ薬剤師として病院や調剤薬局で実績を積み、糖尿病・生活習慣病の患者さんを支援されてきました。

ご縁に導かれ自らも中学、高校と学んだ金城学院へ。大学のスローガンである「強く、優しく。」はまさに薬剤師に必要な能力であるとの思いを抱きながら、日々熱心に指導に当たられています。

動脈硬化研究から教壇へ 糖尿病臨床研究を指導

私は中学、高校と金城学院で、姉もいとも周りはみな金城学院で学びました。中学校・高等学校の校長長屋頼子先生とは同級生で、一緒に書道を学んだ仲です。元々数学が好きだったので理系を志望し、当時は金城学院大学に理系の学科がなかったことから名古屋市立大学薬学部へ進学しました。

入学後は体育会のテニス部に入部。その時の仲間が金城学院大学薬学部開設に尽力された故安藤裕明教授です。当時、名市大医学部循環器内科で動脈硬化の研究で学位をいただいたあと、糖尿病専門薬局を運営していた私に、安藤先生が声を掛けてくださり、金城学院大学で教えるご縁をいただきました。

私が薬剤師になったころは、臨床の場といえば医師と看護師。薬剤師は調剤室で薬関連の仕事をしていました。当時は調剤薬局もなかったのですが、ここ数年で医療も著しく変化し、薬剤師の役割も大きく変わり、医療の担い手として責務を果たしています。

現代の高齢化社会においては、薬剤師もチーム医療の一員としての大きな役割を担っていかなくてはなりません。薬学部が6年制になったのもそのためです。学生は病院実習と薬局実習を5年生時にそれぞれ11週間ずつ行っています。

私の研究室では糖尿病の臨床研究を行い、学生たちは実習で感じた疑問点や、もっとこうすれば患者さんが助かる…という気づきやアイデアを研究に活かしています。それが治療に役立つと同時に、成果が学会などで評価されることも多く、私も学生の

発想力や着眼点に深く感心させられます。



「ありがとう」の言葉を胸に 良い経験を積み、さらなる活躍を

医療職は「ありがとう」がいただける職業の一つ。地域や病院など必要とされる場もたくさんあります。薬剤師になるには薬や医療に関する多くの知識を修得せねばならず、仕事に就いてからもずっと研鑽を積んでいなくてはなりませんが、その分努力が報われる、やりがいのある仕事だと思います。

学生たちには、患者さんから「あなたに会えてよかった」と言ってもらえる薬剤師になってほしい。「あなたがいたから助かった、うれしかった」と言われる薬剤師にぜひなってほしいと願っています。

卒業生の中には糖尿病療養指導士の資格を取り、学会に参加してくれる人もたくさん出てきました。学会の場で「先生、今私はこんなことをやっています」「患者さんからこんな相談を受けました」と声を掛けられると、本当に嬉しいです。

薬剤師になるには多くの努力と時間が必要ですし、実習のために尽力してくださる病院や薬局の先生方もいらっしゃいます。ですから、薬剤師になったからには出来るだけ辞めずに続けてほしいと思います。私の研究室の卒業生は産休後も復帰して社会に貢献し、目標に向かって頑張っている人が大勢います。良い経験を重ねることで、薬剤師という職業で社会に貢献できている、という誇りが生まれるのではないのでしょうか。

薬剤師には優しさが必要ですが、医療の現場にいる以上、強くもなければいけません。金城学院大学のスローガン「強く、優しく。」は薬剤師にとって本当に大事な言葉だと思います。私はこれからも、臨床の現場で必要とされる「強く、優しい薬剤師」を育てていきたいと思っています。

吉川先生はどんな人!?

吉川昌江研究室の6年生に窺いました。「授業のときは分かりやすく、研究のときは厳しく指導してください」「相談ごとにはアドバイスをくださり元気になれる」「憧れの存在。自分も将来先生のような女性になりたい」「薬剤師としても尊敬できるし女性としても素晴らしい方」と、学生からお手本として慕われ、頼りにされるお人柄が窺えました。



近藤 浩子 教諭

名古屋市出身。大学卒業後、金城学院高等学校非常勤講師を経て、中学校・高校で教鞭を執る。現在は中学校で国語・総合的な学習の時間を担当。2016年から生徒会顧問。



言葉によって心は近づき、世界は広がる 面白さと重み知り、責任を持てる大人に

「言葉に興味を持つと世界が広がります」とおっしゃる近藤浩子先生。ご自身も幼いころから読書に親しみ、その一方で子どもたち相手に運動を教える活発な学生時代を送っていらっしゃいました。言葉を介して、生徒1人ずつと成長し合えたらとの思いから教師の道へ。言葉の重みを知る人になってほしいと願い、日々生徒たちを教えていらっしゃいます。

元気一杯だった中高生時代 ボランティアで体育を教える

私の中高生時代は一言で言えば「元気な子」でした。小学生の時は器械体操を頑張る、中学時代は陸上部に。高校時代はテニス部に所属し、得意科目は体育でした。

また本を読むことも好きで、勉強もとりたてて嫌いではありませんでした。部活動に一生懸命取り組み、毎日暗くなるまで練習したことにより仲間との絆が深まったと思います。さらに同級生だけではなく先輩、後輩との縦の関係を通して学んだことは多いと思います。

大学進学では、体育と国文学のどちらに進むかで随分迷いましたが、自分の体のことや先生のアドバイスを踏まえて、国文学を選びました。学生時代の研究テーマは近代文学。好きな作家は太宰治です。人間誰しも二面性を持っていると思いますが、ほとんどの人はそれを出さないように生きています。それを恥じらうことなく出してしまうところが太宰治の強さであり、弱さでもあります。一般的に彼の作風は下降思考だと言われていますが、その中には上昇思考が見え隠れしています。その二面性の中で揺れ動く姿を反映した作品に惹かれました。

大学時代にはもう一つ打ち込んだことがあります。ボランティアで行っていた少年体育のリーダーです。夏はキャンプや水泳、冬はスキーやスケート、普段は体育館でマット運動や跳び箱。体育教室の先生というよりは体操のお姉さんという感じです。子どもが好きということもありますが、体を動かすこと自体が楽しく、卒業後も含め5年間携わりました。その時の経験が、教師の仕事に興味を持ったきっかけになったのだと思います。



ありのままの自分受け止め 好きになってほしい

最終的に教師になる決め手となったのは教育実習です。実習先は卒業した公立高校に行きました。初めての授業で教壇に立ったとき、生徒たちの真剣な眼差しに足が震えました。「果たして私は生徒たちの真剣さに応えられるくらいの準備をしてきたのだろうか」と考え、生半可な気持ちではとても教壇には立てないと自分自身を反省するとともに、教壇に立つということは、重大な責任を伴うことなのだと思います。

ホームルームの時間では、ボランティア体験や進路選択の話を生徒と一生懸命にしました。生徒も熱心に聞いてくれて、中には「自分も

活動をしたい」と実際にボランティアをはじめた生徒もいます。こうした経験を通して、自分が真剣に取り組めば生徒も応えてくれるのだと実感しました。教育実習の授業を行う中で、言葉に対する興味も広がりました。文字も、話す言葉もコミュニケーションの手段です。言葉を介して生徒とともに人として成長し合えたら、こんな素敵なことはないと思います、とても難しい仕事であるけれどもやってみてほしいです。

最近の子どもたちは、どうすれば自分の気持ちが伝わるだろうかと言葉選びに悩んだり、美しい言葉を使いたいという思いを持つことが少なくなり、とすれば感情のすべてを「ヤバイ」の一言で済ませてしまうようなところもあります。もっと言葉に関心、興味を持ってほしい、いろいろな言葉が使えると楽しく、自分の世界が広がるということを知ってほしいと思います。生徒たちには言葉の重みを知り、自分の言葉に責任を持てる大人になってもらいたい。ありのままの自分を受け止め、自分の長所をたくさん発見し、もっと自分のことを好きになってほしいと願っています。

近藤先生はどんな人!?

担任を受け持つ1年生に先生の印象を聞きました。「授業が分かりやすい」「記憶に残るよう説明をしてくださる」「注意するときは優しく言うてくださる」との声が聞かれました。授業以外でも「お姉さんのようにしゃべりやすい」「トレンドにも詳しい」「行事があるごとに声を掛けて励ましてくださる」との意見があり、近藤先生の親しみやすく温かなお人柄が窺えました。



英語でレシピを作成し、英語を使って調理実習 実践的な学びで、英語に強い教員を養成

小中連携も見据えた 英語の授業を考案

10月26日、人間科学部現代子ども学科の小学校・中学校英語教員養成コースの学生たちが英語による調理実習を行いました。「ホームステイ先のホストファミリーに日本食を伝える」をテーマに、各グループに分かれてお好み焼きを調理。事前に学生たちが英語のレシピを準備し、当日はアメリカ人教員のアンドラス・モルナー講師や、加藤純子講師の英語による指導のもと、学生たち自身も英会話を交えながら楽しく実習を行いました。

これは英語の科目を担当する小田節子先生、イギリス人教員のポール・ロジャース講師とモルナー講師、加藤講師の4名によって考案された授業。「お互いに密な連携を取りながら、さまざまな内容で展開しています」と話す小田先生。「2020年には小学校の英語が正式な教科になる予定です。それに向けて、本学の強みを活かしつつ“英語に強い教員”の育成をめざしています」と話します。また、今後さらに強化される小中連携についてもふれ、「小学校での英語だけではなく、中学校も通じて9年間の英語教育を把握できる教員になってほしいと思っています」ともいわれます。



英語による調理実習を行う現代子ども学科の学生たち

プレゼンの能力や 授業の企画力も育成

調理実習の他にも、小田先生をはじめとする先生方が考案した授業はさまざまな内容で展開されています。その中の一つ、ストーリーテリングの授業では、学生が日本の昔話を英語で話せるように練習します。「小学生の英語教育では、英語の音になじませることが大切。英語でも感情を込めて話せるように練習します」と小田先生は話し、「外国人の子どもに通じるように、自分たちで物語を少し作り変えたりと工夫を行う過程で、より深く文法を理解できるようになると思います」といいます。学生たちは教育研修で訪れるアメリカの小学校で、実際にその成果を発表。子どもたちが食い入るように話を聞く様子に感動し、「英語が通じる喜びと達成感」を体感することができます。

また守山区立図書館をはじめ、名古屋市内3ヶ所の図書館で、英語によるお話し会も行っています。本の読み聞かせや歌など、プログラムはすべて学生が考え、リハーサルを何度も行い本番に挑みます。回を重ねるごとに、学生たちの読み聞かせも上達。その様子に小田先生は「人前でも緊張することなくプレゼンできる能力が自然に



金城学院大学
人間科学部 現代子ども学科
小田 節子 教授

「日本人への英語発音教授法の開発」「早期英語教育」が研究テーマ。専門分野は教育学と言語学。日本実践英語音声学会評議員。

身につくと思います。また自分たちでプログラムを考えるという実践は、小学校の授業内容を考えるときに役立ちます」と話します。「今後は英語教育全体もCLIL(内容言語統合型教育)を推進されていきます。それに合わせて、現代子ども学科でも積極的に調理実習やストーリーテリングなどを取り入れて内容と英語を結びつける授業を行っていきます。これにより、自信を持って子どもに英語を教えられる教員になってほしいと考えています」。

現代子ども学科では、2019年度より「現代子ども教育学科」へと学科名を変更します。これまで同様、こうした実践的な授業を行いながら、より一層即戦力として応えられる、また学ぶ楽しさを子どもたちにきちんと伝えることができる小学校教員や中学校教員を養成していきます。

金城学院大学 公式SNSのご紹介

金城学院大学では、大学公式Instagram・Facebookにて、大学の毎日の様子や、教員・学生の活動を紹介しています。ぜひご覧ください、フォローをお願いいたします!



金城学院大学公式 Instagram

kinjogakuin_university



金城学院大学公式 Facebook

kinjo.univ.

実体験を大切にした“食育”を通して 野菜や果物の本物のおいしさを実感

梅干しになる過程を 身近で体験

幼稚園の園庭にはブルーベリーやみかん、梅や柿などさまざまな木が植えられており、プランターではトマトやナス、ピーマン、ゴーヤなどの季節の野菜を育てています。自然に囲まれながら、季節の移ろいや食物の成長を身近で感じられることは、幸せなことです。

6月上旬、園庭にある梅の木にたくさんの梅が実ったので、子どもたちと一緒に収穫をし、梅干作りをしました。しその葉を一枚一枚ちぎって、しっかり揉んで絞って。塩と赤ジソだけで漬けたすっぱい梅干を作りました。梅としが入っている瓶のおいしさに「うわ～すっぱいにおいがする～」「よだれがでるね」と子どもたちも驚いた様子。中には、売られている物しか見たことがなく“梅干は赤いもの”と思っている子どもも多く、漬ける前の梅を見て「これ本当にうめほしになるの？赤くないよ？」と聞いてくる子どももいました。

梅雨が明けた7月上旬、大きなざるの上に梅干を並べ“土用干し”をしました。子どもたちは瓶を開けた瞬間に漂った酸っぱい香りを体験したり、梅を一粒一粒瓶から出して干す様子を見たり、梅干しになる過程を身近で体験することができました。

2学期になり、完成した梅干しを給食の時にみんなで美味しくいただきました。「ん～すっぱい！」「ごはんといっしょにたべるとおいしいね！」と、自分たちで作った梅干しの酸っぱさと美味しさを感じながら、それぞれに味わって食べました。



苦味も形も初体験！ ゴーヤの収穫体験

園庭のプランターで育てていたゴーヤもた

くさん実りました。子どもたちと収穫を行い、種やワタを取り、スライサーで薄くスライスしたゴーヤを塩もみして、醤油と鰹節をかけていただきました。この日はじめてゴーヤにふれる子どもたちや、はじめてゴーヤを食べる子どもたちも多かった模様。ゴーヤにふれ、表面の感触を手で感じたり、種やワタがあることや少し苦みがあることを知ったりと子どもたちにとってははじめてのことづくしです。中には、種やワタを取るのに力が必要なことや、難しいスライサーの使用方法に「お料理するのってたいへんだね～!!」「ほんと！しらなかった！」と感想をいう子どもも。自分で作ってみることで、毎日ご飯を作ってもらったことのある子どもも感じる事ができたようです。また、予想以上に「おいしい!!もったべたい!!」という声が多く、職員もみな驚きました。



みんなで収穫、皮むきも 渋柿づくり体験

秋が深まり、運動会を終えたころ、園庭にたくさんの柿が実ります。子どもたちから「柿がたくさんできていますよ！」「食べたいな～」という声が聞かれたので、みんなで柿の収穫をしました。1人が枝切りばさみを使い、枝をチョキン！もう1人がザルをもって落ちてきた柿をキャッチします。「切るよ～！いい～？」「ここでいい？」「もうすこし横かな！」こんな会話をしながら、心と力を合わせ、柿の収穫を楽しみました。また、柿の木の下にあるたくさんの柿の種や、切った枝に大きなカマキリを見つけるなど、収穫をしている間に、さまざまな発見もありみんな大喜びでした。

収穫した柿の中には渋柿があり、干し柿作りにも挑戦。子どもたちは、ピーラーを使って柿の皮むきを体験しました。初めて経験する子どもたちは、皮をむくの少し苦戦して



いましたが、段々とコツを掴みうまく剥けるように。中には、お家でたくさん経験しているのだからと思う程、手つきが慣れている子どももいました。干してある柿を見て「これってどうなるの？」「もう食べられるの？」とみんな興味津々です。「しばらく太陽の光にあてて、外に干しておくことで甘くなって食べられるようになるんだよ」という話を先生から聞き、毎日干し柿の様子を見ながら、柿が小さくなっていく様子や、食べられるようになるのはいつなのかと、心待ちにしています。

現代の子どもたちが野菜や果物を目にするのは、スーパーなどの店に売っている物や、調理されたあとの物がほとんどです。本来の姿かたち、どのような場所でどのように実るのか、という事を知る機会が少ないと感じます。また、幼稚園で食べる給食でも「これなあに？」「食べたことないから食べられない！」と口にする前から食べることを拒んだり、食の偏りがある子どもたちが増えてきているようにも思います。食材のことについて子ども自身も知ること、また、実際に自分で育てて成長の過程を見守り、料理をし、友達と一緒に食べたりするというような実体験を通じた“食育”が、子どもたちの“食への興味”に繋がっていくと実感しています。

幼稚園での経験を通して、子どもたちが神様から与えられている恵みに気づき感謝をすること、さらに“食”について興味を持ち、“知りたいな”“食べてみたいな”と思うきっかけになればと願っています。



東京国際合唱コンクールで金賞の栄冠に! 金城学院グリークラブが中高合同で出場

中・高が合同練習 お互いに刺激や学びも

金城学院グリークラブが、7月28日(土)に行われた「第一回東京国際合唱コンクール本選」に出場し、金賞と同声部門2位に輝きました。

本大会は今年初めて開催され、中国や韓国、香港などのアジア諸国をはじめ世界各国の国々が参加。同声部門や混声、ユースやジュニアなどさまざまな部門に分かれて選考が行われました。まずは録音審査による予選が行われ、見事通過。第一生命ホールで行われた本選で演奏を行いました。

今回、演奏したのは高校生30人、中学生24人の計54人。生徒たちは4月から週5日の練習。本番1週間前は夏休みだったこともあり、朝から夕方まで練習をしました。中・高合同の練習に、「長期間一緒に練習を

することは少ないので、後輩たちと自分の中学のころの話で盛り上がって楽しかったです。指導は大変でしたが、みんな一生懸命頑張ってくれたと思います」と話す高校3年の中保里梨さん。中学3年の小川紗季さんも「高校生の演奏は歌に感情と迫力があり、とても勉強になりました。コンクールで足手まといにならないように練習しました」と話し、お互いに刺激や学びがあったと振り返ります。



左から小川紗季さん(中学3年生)、中保里梨さん(高校3年生)、宮木令子先生

楽しい雰囲気の中で 練習成果を100%発揮

コンクール前日は青山学院大学の礼拝堂で練習。「貴重な経験をさせていただきました」と中保さん。小川さんも「東京に来た高揚感と緊張感がありましたが、大学で練習できて楽しかったです」といいます。

いよいよ本番では、課題曲である「あか

あかや」の他に「春は来ぬ」など3曲の自由曲を演奏。「みんな、コンクールの雰囲気になじめることなくのびのびと歌っていました。自分たちの音楽ができたと思います」と指導された宮木令子先生は絶賛。小川さんも「無我夢中で歌いました。練習の成果が100%発揮できました」と力を出し切れた喜びを話します。

本大会は通常のコンクールとは違い、演奏がよければスタンディングオベーションも起こり、会場全体でコンクールを盛り上げる雰囲気のある大会です。生徒たちも会場からの拍手の嵐に感動を覚えました。

金賞受賞の知らせを受けた瞬間はみんなで大喜び。「教えてくださった先生方や支えてくれた皆さんのおかげだと感謝しています」と中保さん。小川さんも「他の上位チームのレベルがすごく高かっただけに、金賞が受賞できて本当に嬉しかったです」と笑顔で話します。

「中・高の団結力が高まったのでメサイアや定期公演、演奏旅行も頑張りたい」と話

す中保さんに続き、「直すべきところは直して今後のイベントもきちんと演奏したい」と小川さん。さらに上をめざして今後も頑張っていきます。



テニス部が全国中学生テニス大会出場 選手も応援も一致団結して出場権獲得

県大会と東海大会で好成績 全国大会への切符つかむ

中学テニス部が8月に広島で行われた「第45回全国中学生テニス大会」に出場しました。公立中学校を含めた全国の中学生が出場する最大の大会で、夏の大会の参加は第40回大会以来5年ぶりの快挙です。

5月の県大会では見事準優勝。6月の東



海大会で3位に輝き、全国への切符を手に入れました。特に全国大会出場を決めた東海大会では、チームのエースがあと1ゲームで負けてしまうところまで追い込まれながらも、挽回して逆転勝利を収めました。劇的な展開に本人も「みんなの応援があったから頑張れました」と話し、チームは歓喜に沸きました。

顧問の大見映理先生は「応援団と一体になって戦いました。テニス部はミスしてもリードされても明るく元気に、をモットーにしています。生徒たちも高校生と一緒にレベルの高い練習をこなし、自信を持って戦いました。全国大会では惜しくも1回戦で負けてしまいましたが、明るく元気に戦えたと思います」と生徒たちを讃えます。また「中・高が一緒に練習することも多く、進路の決まって



いる高校3年生が1年生を指導してくれることもあります。中学生にとって身近に憧れや目標となる先輩がいることはとてもよいことです。教えてもらった中学生が高校生となり、また後輩の中学生を教える。こうした成長が見られることは顧問の楽しみでもあります」とも話します。中高テニス部は今年、創部70年。これからも伝統を受け継いでいきます。

全国ディベート選手権、中学生が3位に輝く プレッシャーはねのけた3・1年混合チーム

先生、仲間感謝 次も「全国目指す」

中学校と高校の生徒が8月に立教大学で行われた第23回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)に出場。中学生が中学の部3位の成績を収めました。

ディベートの試合は、設定された論題に対して肯定側・否定側の選手と、勝敗を決めるジャッジからなり、議論を通じてジャッジを説得した方が勝ちとなります。論題は2月に発表され、どちらが肯定・否定の立場になるかは試合直前に決められました。

3位に輝き、リーダーを務めた3年の江坂萌夏さんは「チームの私以外はほとんど初めてだったのに入賞できて驚きました。このメンバーが集まったことも奇跡だと思います」と話し、同じく3年の伊藤志歩さんも



「ここまで引っ張ってくれたリーダーや教えてくださった先生に感謝しています。準決勝で負けてしまったときは本当に悔しかったです」と振り返り、伊藤花恩さんは「初めてのディベートでプレッシャーは大きかったです。全国出場が決まったときは嬉しさと同時に、自分で大丈夫かな?という気持ちもありました。でも周りの方々のおかげで3位になれてうれしいです」と話しました。

また1年の西尾結香さんは「準決勝で負けてしまったことは悔しかったのですが、

初心者が多いチームなのにここまでこれたことはすごいと思います」と喜びを表現。同じく1年の吉村結菜さんは「ジャッジの人から試合後にアドバイスをいただき、はじめはその言葉に心が折れていましたが、今振り返ると、とても鍛えられたと思います」と自身の成長を実感しています。

後輩に向け「来年も全国出場して1位を狙ってほしいです」と話す江坂さんの期待に応え、チームで力を合わせて来年も上位入賞を狙います。



金城学院130周年記念寄付

金城学院130周年記念寄付に対し、多くの方々からご賛同を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
 今号では2018年6月から2018年10月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。
 みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校法人金城学院 理事長・学院長 戸 莉 創

寄付金ご芳名録(2018年6月～2018年10月末日までにいただいたご寄付をご報告させていただきます)

秋山逸子 森真子 田中孝治 株式会社カミヤマ 田中せい子 杉山口京子 坂口龍一郎 渡邊喜代子 出嶋亨 加藤芳浩 長谷川真弓 今枝浩 林まどか 伊藤博子 沖喜美子 千葉貴栄 分尾上 川口光男 早瀬篤志 後藤貴子	林哲也 滝川林弥 鮎川潤 水野貴之 犬飼迪代 志水聡子 木村光伸 馬場紀美子 愛知株式会社 代表取締役社長 島本進彦 株式会社册和商事 代表取締役 笠原信明 佐藤睦子 金田昌敏 伊藤光明 溝口洋子 種田美佳子 朝倉聡 鈴木淳子 原佳代子	表示灯株式会社 取締役会長 吉田大士 甲斐公也 西川道子 肥後桂子 小林一幸 小矢吹三千代 高橋雅子 豊田江美子 乙部由子 井上瑞穂 株式会社三菱地所設計 代表取締役社長 林 純一郎 森川信義 木倉京子 遠藤卓枝子 服部英二 今枝永梨香子 斎藤智子	筒井ユキコ 浅野隆 佐々木祐実 谷口欣子 宮之原光枝 横田和子 鏡味真理子 藤野圭子 平松憲子 清水禮子 西水雅子 水野洋子 三宅暢子 田原真奈美 富田順子 津田賢和美 滝村尾静枝 南昭子 高木和子	鈴木祥子 川嶋悦子 川嶋裕見子 中川昭子 北川和子 加藤邦子 藤松友栄 長津美保子 鶴田敦子 立木月珠 岩中野泉 中野美智子 與語いつこ 下見典子 大櫻純正 井藤真弓 八木喜久子 青山喜久子 猪飼美穂	青山恵子 中原由加子 林宏子 真野久 柴田緑 西野三緒子 熊谷英津子 菱川大介 石川洋子 鈴木達也 山崎幸史 本多真史 有限会社 東海エンジニア 代表取締役 原田龍馬 武岡路美	寄付者 卒業生 70 在校生ご父母 33 一般有志 3 教職員(元教職員含む) 14 その他 17 総計 137																	
※匿名希望 24件 同一寄付者による複数回の寄付3件																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>寄付目的</th> <th>寄付金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学奨学金</td> <td>535,000</td> </tr> <tr> <td>女性みらい研究センター</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>KIDSセンター</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>KMP21</td> <td>495,000</td> </tr> <tr> <td>本学院発展</td> <td>1,230,000</td> </tr> <tr> <td>指定なし</td> <td>2,975,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>5,620,000</td> </tr> </tbody> </table>						寄付目的	寄付金額(円)	修学奨学金	535,000	女性みらい研究センター	330,000	KIDSセンター	50,000	KMP21	495,000	本学院発展	1,230,000	指定なし	2,975,000	その他	5,000	総計	5,620,000
寄付目的	寄付金額(円)																						
修学奨学金	535,000																						
女性みらい研究センター	330,000																						
KIDSセンター	50,000																						
KMP21	495,000																						
本学院発展	1,230,000																						
指定なし	2,975,000																						
その他	5,000																						
総計	5,620,000																						

金城学院維持協力会

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うこと

によって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有

力企業など法人会員72社、個人会員9名にご賛同いただき、ご入会いただいております。

維持協力会ご芳名録

■法人

愛知株式会社
 株式会社アイワット
 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
 アットワンス株式会社
 株式会社アド・アート
 株式会社アドマテックス
 天野商事株式会社
 株式会社オティックス
 株式会社カミヤマ
 株式会社キクタケ
 教育産業株式会社
 株式会社杏林堂薬局
 金城学院大学生生活協同組合
 株式会社さんでん 中部支社
 グリーンシティーケーブルテレビ株式会社
 株式会社コイワボンドマニファクチャリング
 株式会社sus4
 株式会社三晃社
 株式会社産通
 サンメッセ株式会社
 株式会社シーアールイー
 株式会社シーオーエー
 株式会社ジェイエスティ
 敷島製パン株式会社
 株式会社正文館書店
 株式会社進研アド

株式会社新東通信
 スギホールディングス株式会社
 株式会社スギヤマ薬品
 セクタム株式会社
 株式会社瀬古写真館
 瀬戸信用金庫
 株式会社大学通信
 大成建設株式会社 名古屋支店
 大成有楽不動産株式会社 名古屋支店
 大成ロテック株式会社 中部支社
 ダイダゲン株式会社 名古屋支社
 大日本印章株式会社
 医療法人高田 ライフ健康クリニック
 中央電気工事株式会社
 株式会社中京テレビサービス
 株式会社中部キャラバン
 中部電力株式会社
 電子システム株式会社
 東海東京証券株式会社
 東邦ガス株式会社
 トリニティー株式会社
 有限会社永井抱陽写真館
 株式会社中日本造園土木
 株式会社名古屋観光ホテル
 株式会社名古屋銀行
 名古屋トヨペット株式会社

株式会社名古屋ピアノ調律センター
 名古屋ビルサービズ株式会社
 日本管財株式会社
 株式会社日本ドリコム
 ネットヨク東名古屋株式会社(キリックスグループ)
 表示灯株式会社
 株式会社ファインメディカル
 福玉精穀倉庫株式会社
 株式会社プランナーズブランド
 株式会社册和商事
 株式会社マイナビ
 丸善雄松堂株式会社 名古屋支店
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱地所設計
 三菱電機株式会社 中部支社
 株式会社名北調剤
 盛田エンタプライズ株式会社
 株式会社八神製作所
 株式会社ヤマハミュージックリテイリング
 リンナイ株式会社

■個人

浅井清司 大島寅夫 岡本浩延 野田清衛
 橋本修三 山田隆雄 吉岡 肇 吉田大士
 ※個人の方、1名芳名掲載辞退



Christmas Special Calendar

金城学院大学

大学クリスマス礼拝

- 日 時 12月20日(木) 17:00~18:00
- 場 所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂
- 説教者 小林 光 先生
(日本基督教団熱田教会牧師)
- 特別讃美 大学クワイア、
大学ハンドベルクワイア

クリスマス祝会

- 日 時 12月20日(木) 18:30~19:30
- 場 所 リリー・ノース(N1棟学生食堂)



金城学院中学校

ハンドベルクワイアのクリスマス

- 出 演 中学ハンドベルクワイア
- 日時・場所
 - ◎12月9日(日) 14:00
栄聖書教会
 - ◎12月15日(土) 15:00
NTT西日本東海病院
 - ◎12月16日(日) 14:00
日本基督教改革派尾張旭教会
 - ◎12月22日(土) 13:30、14:30
明治村
 - ◎12月24日(月) 14:30
ミッドランドスクエア
 - ◎12月25日(火) 13:30
ミッドランドスクエア
- ※同日18:00からウィルあいちにて、
高校ハンドベルクワイア定期演奏会に
賛助出演します。

ハーブアンサンブル部

- 日時・場所
 - ◎12月8日(土) 10:30
みどり野会クリスマス礼拝
 - ◎12月23日(日) 14:00~17:00
日本基督教団中京教会

金城学院高等学校

ハーブアンサンブル部

- 日時・場所
 - ◎12月15日(土) 15:00
NTT西日本東海病院クリスマス会
 - ◎12月16日(日) 11:30~12:00
日本基督教団御器所教会

金城学院高等学校

キャロリング

- 出 演 高校グリーククラブ
(中学グリーククラブも出演します)
- 日時・場所
 - ◎12月8日(土) 12:00、15:00、17:00
中日ビル(中学3年以上)
 - ◎12月9日(日) 10:30
日本キリスト教団桜山教会(高校2年以上)
 - ◎12月18日(火) 16:30
名古屋通信病院(中学3年以上)
 - ◎12月21日(金) 17:15
公立陶生病院
 - ◎12月22日(土) 13:30
SMBCパーク栄(高校生のみ)
鑑賞希望者は要予約
 - ◎12月23日(日) 16:00
徳川園(高校生のみ)
 - ◎12月24日(月) 16:30
ミッドランドスクエア
(中学3年以上)
 - ◎12月25日(火) 15:30
ミッドランドスクエア
(中学3年以上)



クリスマスハンドベル演奏

- 出 演 高校ハンドベルクワイア
- 日時・場所
 - ◎12月8日(土)
永生苑 11:00
日本キリスト改革派豊明教会 13:30
 - ◎12月9日(日) 15:00
セントレアホール
 - ◎12月15日(土) 14:45
名古屋港水族館
 - ◎12月16日(日) 10:30
日本キリスト教団枇杷島教会
 - ◎12月22日(土)
金城学院幼稚園 14:00
ラシック 15:00



金城学院幼稚園

クリスマス礼拝(満3才児)

- 日 時 12月17日(月) 10:45
- 場 所 金城学院幼稚園

クリスマス讃美礼拝(親子)

- 日 時 12月18日(火) 9:50
- 場 所 金城学院幼稚園



クリスマス親子礼拝

- 日 時 12月22日(土) 13:30
- 場 所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂
- プログラム
 - ◎礼拝
 - ◎高校ハンドベルクワイアミニコンサート
 - ◎年長児キャロリング
- ※15:30頃より名鉄瀬戸線大森・金城学院前駅にて

定期演奏会のご案内

ハンドベルクワイア定期演奏会

- 出 演 高校ハンドベルクワイア
(大学及び中学ハンドベルクワイア
も賛助出演します)
- 日 時 12月25日(火)
17:30開場 18:00開演
- 場 所 ウィルあいち
- 入場料 無料(入場にはチケットが必要です)

ハーブアンサンブル部定期演奏会

- 出 演 高校ハーブアンサンブル部
- 日 時 2019年2月16日(土)
13:00開場 13:30開演
- 場 所 金城学院高等学校 栄光館
- 出 演 中学ハーブアンサンブル部
- 日 時 2019年3月16日(土)
13:00開場 13:30開演
- 場 所 金城学院中学校 小礼拝堂



グリーククラブ第40回定期演奏会

- 日 時 2019年2月16日(土)
15:15開場 16:00開演
- 場 所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

私にとっての金城学院 vol.05



部活動に打ち込める
環境が整っています。

金城学院中学校3年
藤榮 璃々さん

金城学院中学校3年
鈴木 舞さん

自分とは違う意見の友達に
たくさん出会える学校です。



Q & A

01 金城学院中学校の魅力は何だと思いますか？

藤榮 珍しい部活動があり、好きなことを見つけられる環境が整っていることです。新校舎になりのびのびと部活動に打ち込める場所が増えました。

鈴木 みんなが明るく積極的なところ。また自分とは違った意見を持つ友達とたくさん出会えるのも金城学院の魅力の一つだと思っています。

02 これからの夢や展望を教えてください。

藤榮 誰かの助けになるような仕事に就きたいです。今年管弦楽部部長を務めて部員の人々と関わり、誰かを助けることは楽しいと感じたからです。

鈴木 金城で学んだことやサッカー部での経験を生かし、これから社会の役に立てる何らかの仕事ができればいいと思っています。

03 中学校に通ったことで成長できた点は？

藤榮 大勢の人の前できちんと自分の言いたいことを言えるようになったことです。前はなかなか話せませんでしたが、だんだん慣れてきました。

鈴木 皆が積極的なので、自分も自発的にいろいろなことに取り組みようと思い、授業中も自ら手を挙げて積極的に発言する機会が増えました。

クリスマスメッセージ

「わたしは彼らの悪を赦し、
再び彼らの罪に心を留めることはない」

エレミヤ書 31章31～34節

『新しい契約』の預言

このエレミヤの預言は、旧約聖書の中であって、「新約の預言」として重要なところ。

神はかつて、創り主である神に背いて生きる道を見失ってしまった人間が、神のもとに立ち帰って生きようと「律法」を与えられました。その時人は、神に従い生きることをしっかり約束したのです。けれどもその約束は破られ、人間は、神に背き続けました。それにもかかわらず神は、罪の中にあえぐ人々を救うために、救い主を送る計画をたてられたのです。神は、人間の罪をあがなうために、救い主の命を身代金として、人間の罪を赦そうとされたのです。そして主イエスの復活によって、人々に真の命を回復する約束をされたのです。これが「新しい契約」です。

この預言は、背き続ける人間に、なお救いの約束をされる神の深い愛が顕わされた預言です。その愛が、人間に見える形でこの世界に示されました。主イエスの誕生です。私たちの赦しと救いのために来られた主イエスを、喜びと感謝をもって心のうちにお迎えしましょう。

小室尚子 (金城学院大学 生活環境学部 宗教主事)

～みどり野会(同窓会)より～

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会で「みどり野会」という名称は1920年(大正9年)旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました

「主はわが**ほくしゃ**牧者なり われ**とほ**乏しきことあらじ
主は我を**しほ**みどりの野にふさせ いこの**みど**の水濱にもなひたまふ」
神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後も母校に集まり いこの時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです

みどり野会からのお知らせ

2018年度クリスマス讃美礼拝

- 日 時 / 2018年12月8日(土) 10:30～13:30
 - 場 所 / 中学校白百合館礼拝堂予定(駐車場は利用不可)
 - 礼 拝 / 人間科学部 宗教主事 吉松純 先生
 - 要申込 / 下記事務局までお申込みください(無料)
- クリスマス讃美礼拝と中学校ハーブアンサンブル部のミニコンサートを予定しています。

2019年度みどり野会総会

- 日 時 / 2019年4月20日(土) 10:00～14:00
 - 場 所 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 - 礼 拝 / 日本基督教団名古屋中村教会 岩本和則 牧師
 - 要申込 / 下記事務局までお申込みください(会費制)
- 総会後の愛餐会で卒業生によるフラダンスを予定しています。

◎お問合せはみどり野会事務局まで

本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)
分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)
H P http://www.kinjo-midorino.com

※活動詳細は会報「みどり野100号」をご覧ください。